

乳幼児の誤飲事故に注意しましょう

赤ちゃんは目についたものを何でも口を持っていき、自分の感覚で確かめます。誤って飲み込まないよう、周りの大人が予防しましょう。

「チャイルドマウス」をご存じですか？

乳幼児の口の大きさは直径39mmほどです。
これより小さなものは誤飲のリスクがあります。
母子健康手帳には、「作ってみよう！チャイルドマウス」として直径39mmの筒が作れるページがついています。実際に作ってみて、意外に大きいものでもお子さんの口に入ってしまうことを確認してみてください。

特に注意が必要なもの

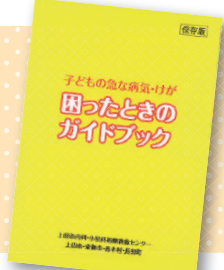
- **たばこ**……………ニコチンの作用によって、嘔吐などの中毒症状が出ることがあります。
- **磁石**……………腸の壁を挟んで磁石同士がくっつき、腸に穴があいてしまうことがあります。
- **ボタン電池**……………食道につまったり、胃の中にとどまって穴があいたりすることがあります。
- **樹脂性吸水ボール**……………水分を含むことで大きく膨らみ、腸閉塞を起こすことがあります。
- **ジェルボール洗剤**……………他の洗剤より嘔吐などの症状が表れやすいです。

これらは、**見えない・手の届かない・開けられない**ところに保管しましょう。
樹脂性吸水ボールやジェルボール洗剤は、お菓子と似ていたりキラキラして見えたりと子どもの興味を引きやすいです。乳幼児のいる家庭では**取扱いに注意が必要です**。



子どもの急な病気・けが 困ったときのガイドブック

「子どもの急な病気・けが 困ったときのガイドブック」にはいざという時の対応方法が載っていますのでご参照ください。また、かかりつけ医・緊急連絡先も合わせて確認しておきましょう。



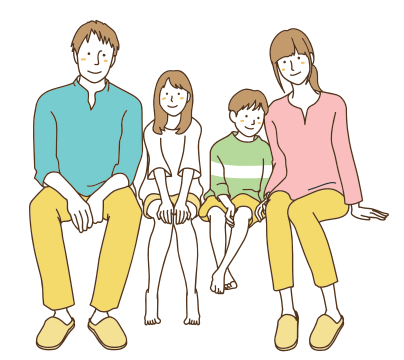


「子どもが子どもでいられる社会」の実現を目指して ヤングケアラーを支える ⑩



☎ 子育て・子育て支援課 ☎23・5106

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定される家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことをいいます。
これまでの連載では「ケアとお手伝いの違い」や、「ケアをしている子の存在やその影響」、「相談窓口や支援事業」についてお伝えしてきました。
ヤングケアラーへの理解やサポートは社会全体で支える仕組みをつくる必要があります。そのためには地域住民の皆さまの協力が欠かせません。
子どもたちが誰からも気づかれず孤立してしまうことを防ぐためにも、身近に思い当たることがありましたら匿名相談も可能です。子育て・子育て支援課へのご連絡をお願いします。



川柳

斉藤 俊 酔 選

温暖化クマは冬眠放棄する
年初め無情な天に支援の手
山間の無人駅にも注連飾り
温暖化特産物も所替え
インフルもコロナもおそれ引きこもり
本誌より付録欲しさに手が伸びる
哀愁の響き残してハーモニカ
大き夢大谷からのグラブ持ち
老化現象足が知らせる恐ろしさ
〈選者評・一句目〉 通常クマは冬眠するものと思っていたが、未だにクマの出没が報道される。地球の変動が物事を狂わせるのか、作物等も今後どうなるのか心配。

俳句

島田 洋子 選

初金や鼻緒五足の躰り口
菓の香や口伝で繋ぐ猫つぐら
雪解けて舗道に波紋生まれ継ぐ
冬青空庭師忍びの足さばき
目覚めてもなほ夢の中冬銀河
いずこより居間に入りたる枯葉かな
野良猫と膳を分かつや明けの春
九十歳昭和の与太の忘年会
目の見えぬ犬甘え来る冬の雷
〈選者評・一句目〉 茶室の躰り口に置かれた草履。五足と具体的に詠むことで、茶室で晴れ着の客が華やかに新年を祝っている光景が見えるようです。

金子 友晴	小池 園枝	竹内 創造	神田 愛子	平林 美代志	甲田 隆登	若林 みゑ子	松沢 昭一	竹内 栄
大森 乃里子	田中 けさ子	窪田 吉治	伊東 恒夫	甲田 隆登	小泉 うさぎ	山本 進	竹内 栄	有賀 晩鐘

6月号の投稿方法

4月15日(月)必着

- 種類ごと別々ののはがきで裏面に住所、氏名(フリガナ)、短歌・俳句・川柳の別を記入のうえ、**図**へ(未発表作に限る)。
 - 添削を希望する場合は、往復はがきにご自分のあて先を記載のうえ、投稿してください(短歌は2首まで。掲載作への返信は除きます)。
 - はがきに記載された個人情報につきましては、作品の表彰および添削以外には使用せず、選者以外の第三者に提供することはございません。
 - 掲載作は、選者が添削して掲載する場合があります。
- ☎ 文化政策課 ☎75・2005 ☎386-8601(住所不要)

SDGs ひろば

市内の企業、団体、学校などによるSDGsの取組を紹介するコーナーです。

☎ 政策企画課 ☎23・5112

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

上田市農業委員会

上田市農業委員会は、農地の確保と有効利用に向けて、遊休農地の解消、担い手不足などの課題解決に日々、取り組んでいます。その活動の一環として、女性委員を中心として「こども農業体験会」を企画・開催すると共に、荒れた農地を再生させ、イベント会場として使っています。
令和5年度は、市内3会場で、計7回開催し、延べ150人の親子に参加いただきました。その活動がSDGsに資するものと認められ、長野県が開催している「信州SDGsアワード2023」の企業・団体の部で表彰されました。
これまで農村では、営農しながら助け合い、地域で育ったものを食し、周辺環境を維持していくという持続可能な社会の仕組みが行われていました。当会では、SDGsの達成に向け、この仕組みを継続させていくよう、農地を保全するための活動を進めていきます。

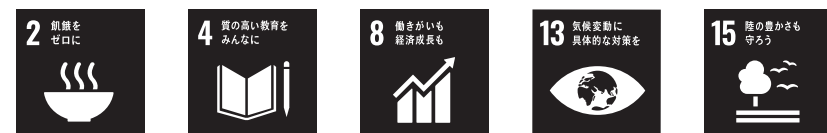


農業委員会事務局
ホームページ



市ホームページ

該当するゴール



信州SDGs
アワード2023
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「信州SDGsアワード2023」受賞



農業体験会の様子